

# 低コストで効率的な施業の推進に向けて

～地域事情を踏まえた搬出間伐・列状間伐の普及～

十勝西部森林管理署

## 【現状・課題・目的】

十勝総合振興局管内の人工林資源が充実・利用期を迎え、伐採量全体の9割を占めるようになってきている。一方、民有林では搬出間伐は7割を超えているが、除間伐実施面積に対する列状間伐の実施状況は1割にも満たない状況である。このため、効率的で作業の安全性の高い列状間伐について、森林所有者等が理解し定着する取組が引き続き必要である。

## 【平成29年度の取組結果・成果】

### 搬出間伐・列状間伐の普及

#### 【取組】研修会による技術の普及

十勝西部森林管理署は、平成29年10月27日、広尾町で開催された「十勝管内森林施業技術研修会」に参画。

室内研修で「国有林における列状間伐の実施について」の講演を行い、国有林で実施している列状間伐の解説を行った。

また、地域の著名な指導林家が講師を務めた現地研修「高性能林業機械を活用した作業システムによる効率化と作業の安全」では、列状間伐で作業実行中の国有林をフィールドに、高性能林業機械を使用した効率的な作業の説明を行った。

#### 【成果】低コスト意識の醸成

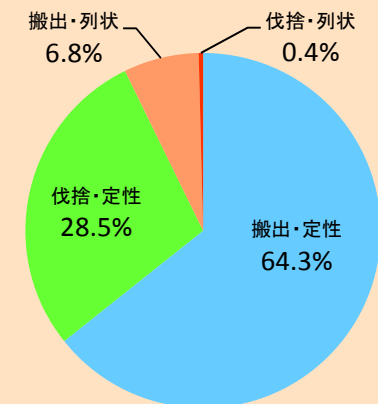
この研修では、搬出間伐と列状間伐を推奨し実践する指導林家から、列状間伐のメリット、低コスト間伐の取組みを作業現場で具体的に説明したことで、参加した十勝管内の市町村林務担当者、森林組合職員、森林所有者等は高い関心を示し意識の醸成を図ることができた。



【室内研修】



【現地研修】



【十勝管内 民有林除間伐実績】  
(平成28年度実績)

## 【今後の取り組みで目指すところ】

民有林でも高性能林業機械と路網を組み合わせた効率的な作業システムの採用を検討したいとの意識が醸成されることを目指す。

森林所有者や森林組合が列状間伐のメリットを理解し、不安等が払拭され、来年度には当署管内の8市町村の全てで列状間伐が導入されることを目指す。

市町村の林務担当者との顔の見える関係を構築し、国有林に対して気軽に相談できるようにする。また、支援を通じて林務担当者の森林・林業の知識が深まり林務行政に自信が持てるようにする。

## 【これまでの取り組みや成果】

「低コストで安定的に木材を供給する」「安全作業と省力化に資する」という観点から、民有林での列状間伐普及に向け、道有林と国有林の列状間伐実行箇所での現地検討会等を行ってきた。これまでの取組の結果、民有林でも列状間伐を取り入れる動きもでてきたが、メリットが理解されない、不安等を抱くなど普及に向けての課題があり、全体的な取組として広まってはいない。

## 【今後の目標】

林業の低コスト化と資源の有効利用の取組は、森林整備を進めていくために重要であることを踏まえ、森林所有者や行政機関を交え列状間伐の優位性を示し、低コスト施業と列状間伐の拡大を図る。全市町村で列状間伐を導入し、3年後には一般民有林間伐面積の2～3割程度を目指す。